

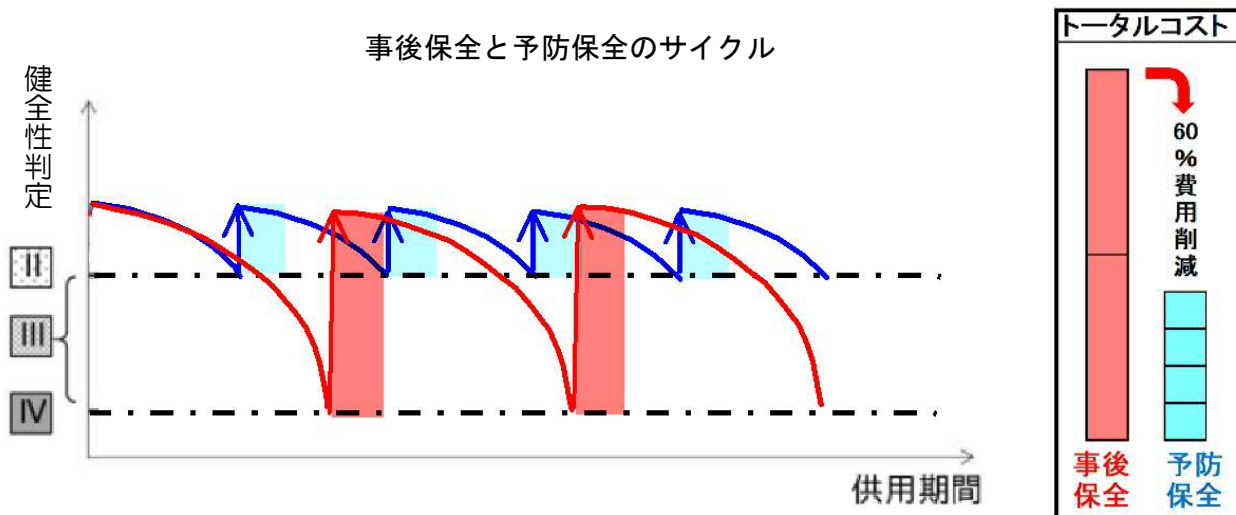
## 明石市橋梁長寿命化修繕計画の更新について

### 1 背景

明石市の管理橋梁は225橋あり、高度経済成長期以降に多くの橋梁が建設されています。建設から50年を経過する橋梁は2021年度の72橋(31%)から20年後には156橋(67%)となり、急速に老朽化橋梁が増大します。

このような背景から、今後増大が見込まれる橋梁の劣化に対して計画的に補修を行い、予防保全による維持管理へ転換し、中長期的なトータルコストの縮減・平準化を図るため、明石市橋梁長寿命化修繕計画に基づく維持管理を行っています。

なお、各橋梁の重要性や損傷状況に応じた計画的な補修や架け替えを実施することで、今後100年間で約60%のコスト縮減を見込んでいます。



### 2 橋梁の長寿命化に向けた状況

- 2010年(平成22年)8月【明石市】橋梁長寿命化修繕計画の策定(当初)橋長15m以上
- 2012年(平成24年)3月【明石市】同修繕計画の改定(第1回更新)橋長2m以上
- ◆2012年(平成24年)12月 笹子トンネル(中央自動車道)天井板落下事故
- ◆2013年(平成25年)6月 道路法改正「5年に1回近接目視点検の義務付け」
- 2016年(平成28年)3月【明石市】法定点検及び同修繕計画の改定(第2回更新)
- 2021年(令和3年)11月【明石市】法定点検及び同修繕計画の改定(第3回更新)

### 3 明石市橋梁点検結果の概要

- I判定:今回点検42橋(前回点検時41橋)
- II判定:今回点検172橋(前回点検時139橋)
- III判定:今回点検11橋(前回点検時7橋)

<点検結果の損傷状況>

区分I(健全)	特に大きな損傷はない
区分II(予防保全段階)	損傷は小さいがある
区分III(早期措置段階)	損傷があり補修が必要
区分IV(緊急措置)	緊急に補修が必要

#### 4 これまでの橋梁修繕の取組み

- 長寿命化修繕計画（当初：2010～2011年度）：3橋修繕
- 同計画（第1回更新分：2012～2015年度）：3橋修繕
- 同計画（第2回更新分：2016～2020年度）：22橋修繕（Ⅲ判定7橋、Ⅱ判定15橋）

#### 5 今後の取組み

○定期点検を踏まえ、2021(令和3)～2024(令和6)年度に以下の橋梁の補修を行う予定。

年度	橋 梁	主な損傷等
2021(令和3)年度	魚住陸橋ほか2橋	コンクリート床版のひび割れ・鋼材の腐食
2022(令和4)年度	西上岡歩道橋ほか1橋	鋼材の腐食
2023(令和5)年度	川添橋ほか2橋	コンクリート床版の剥離
2024(令和6)年度	極楽橋ほか2橋	コンクリート床版の剥離・鋼材の腐食

#### 劣化状況の例



鋼材の腐食（38年経過の橋梁）



コンクリート床版の剥離（61年経過の橋梁）

#### 橋梁補修の例



補修前



補修後